

Activity Report

— 2013 年度 学術講習会開催報告 —

(報告書の所属および役職名は、すべて開催当時のものである。)

1	講演会	
開催日時	2013 年 8 月 2 日 (金) 13 : 00 ~ 14 : 00	
テーマ	Ownership Structure and Voluntary Disclosure: A Synthesis of Empirical Studies	
報告者	Mohsen SOUISSI 氏 [Associate Professor, Fayetteville State University, North Carolina]	
概要	<p>There is an increasing interest in the association between ownership structure and the set of information voluntarily disclosed by corporate managers. The presentation of Prof Souissi addresses the important issue of whether voluntarily disclosure is related to the levels of state, foreign, institutional, and managerial ownership, as well as the institutional and legal environment.</p> <p>This seminar sheds the light on the importance of voluntary disclosure as a critical contributing factor to transparency and good corporate governance.</p> <p style="text-align: right;">(Lumbidi KUPANHY 経済学部教授)</p>	

2	コンファランス
「経済時系列解析と歴史研究：分析モデルの開発と応用」	
開催日時	2013年9月19日（木）12：30～16：20
共催	科学研究費補助金・基盤研究（C）（研究課題番号：24530364） 『近現代日本の米穀市場における時変効率性と情報完備性の計測と比較』 （研究代表者：野田顕彦）
テーマ・報告者	伊藤幹夫氏〔慶應義塾大学経済学部准教授〕 “Non-Bayesian Time-Varying Vector Autoregressive Models for Financial Econometrics” 野田顕彦氏〔和歌山大学経済学部講師〕 “Measuring the Time-Varying Market Efficiency of the Tokyo Rice Futures Market in Prewar Japan” 前田廉孝氏〔西南学院大学経済学部講師〕 「時変効率性の計測に基づく米価史研究の意義と展望」 山本裕氏〔香川大学経済学部准教授〕 「植民地における商品市場の実態—満州に焦点を当てて—」
概要	<p>本コンファランスは、和歌山大学経済学会員である野田顕彦（経済学部講師）が研究代表者を務める科学研究費補助金・基盤研究（C）（研究課題番号：24530364）『近現代日本の米穀市場における時変効率性と情報完備性の計測と比較』におけるこれまでの研究成果を広く社会に発信する目的で、和歌山大学経済学会との共催コンファランスとして開催された。なお、コンファランスでは、時系列解析と経済史の専門家それぞれ2名による研究報告がなされ、6名の和歌山大学経済学会員および3名の他大学教員による、活発な議論が行われた。具体的には、経済史を専門とする和歌山大学経済学会員をはじめ、数多くの建設的なコメントがなされ、同研究課題における今後の取組みの方向性が示されたと考えられる。</p> <p style="text-align: right;">（野田顕彦 経済学部准教授）</p>

3	講演会
開催日時	2013年12月12日（木）12：45～13：45
テーマ	中国帝王陵の考古発掘（秦始皇帝陵，前漢景帝陵， 曹操陵，隋煬帝陵，武則天陵，明十三陵，西太后陵）
報告者	高蒙河氏〔復旦大学文物博物館系教授，中国考古学会理事〕
概要	<p>(1) 学術講習会の目的</p> <p>目的は学術交流である。本学の経済学部は社会科学・人文科学の各領域の専門家を有しており，幅広い研究が行われている。今回の講習会は考古学専門家の高蒙河教授を迎えて，普段触れるチャンスの少ない考古学の最新研究成果を紹介してもらい，分野別の学問の研究状況を理解し，研究者としての視野を拡大させ，学際間交流を達成しよう，との目的である。</p> <p>(2) 実施状況</p> <p>今回の講習会のテーマは『中国帝王陵の考古発掘』である。高蒙河教授が発掘調査・作業現場の写真及び歴史・現状関連の資料などを用意し，PPTを展示しながら，詳しい説明を行った。参加者からは多数の質問が挙がり，活発な議論が行われた。</p> <p>(3) 成果</p> <p>上述テーマについての調査・発掘状況を理解したとの「成果」に限らず，参加者からの多角度からの質問及び高蒙河教授の回答・解説，及び，中国考古学研究の現状，さらに発掘・調査方法・遺跡発見関連のエピソードなどの紹介により，分野別の学問の研究状況を理解し，視野を拡大させる学際間交流の目的は達成されたと言えよう。</p> <p style="text-align: right;">（王妙発 経済学部教授）</p>



4	講演会	
開催日時	2014年2月6日（木）13：00～14：30	
テーマ	The Role of the United Nations International Trade Centre (ITC) in the Promotion of Sustainable Development	
報告者	Franck Ekutu BONZEMBA 氏 [Senior Trade Promotion Officer, United Nations International Trade Centre, Geneva, Switzerland]	
概要	<p>This lecture focused on the contribution of trade in general and specially the work of International Trade Centre in the framework of the Millennium Development Goals and the post 2015 UN Development agenda.</p> <p>It shows with multiple examples drawn on the speaker's rich and long experience how ITC has been contributing to trade development between the North and the South, especially by enabling small businesses of developing and transition countries have their products flow into global markets, which are a source of sustainable income.</p> <p style="text-align: right;">(Lumbidi KUPANHY 経済学部教授)</p>	

5	講演会
開催日時	2014年3月14日（金）13：30～14：30
共催	和歌山大学経済学部アグリビジネススクールプロジェクト推進室
テーマ	2014年 New ビジネスの可能性と実践的教育の必要性について ～海外におけるアグリビジネスの事例をふまえながら～
報告者	Leandro DE SA 氏 [Growth Phases LLC 最高経営責任者（CEO）]
概要	<p>本講演会は、和歌山大学経済学会員である足立基浩（経済学部教授）が推進室長を務めるアグリビジネススクールプロジェクト推進室が、和歌山大学経済学会との共催講演会として、オーストラリア、アメリカ、フランス、中国にてビジネススクールプログラムを提供し、世界的なネットワークを有する経営者でもある Leandro DE SA 氏を招聘し実施したものである。本講演会の概要は下記の通りである。</p> <p>実施目的：現在、経済学部を中心として進めているアグリビジネスに関するコース設置に向け、国際的な視座よりアグリビジネスに関する事例を紹介してもらい、アグリビジネスと高等教育機関との連携の可能性について議論し、見識を深めることを、目的としている。</p> <p>実施状況：Leandro DE SA 氏の講演と質疑応答など活発な議論が行われた。とくに経営学を専門とする和歌山大学経済学会員をはじめ、多数の生産性のあるコメントがなされた。</p> <p>成果：上記目的にあるアグリビジネスと高等教育機関との連携の可能性について、海外での先進的事例を理解し、同教育・研究課題における今後の方針について教示された。</p> <p style="text-align: right;">（足立基浩 経済学部教授）</p>